

昭和三十五年十月三日（廿二日）

第三回市議會議例會議錄





館山市定例会之議録

昭和三十五年十月三日招集(第二号)

十月三日(月曜日)

一 議事日程第二号

昭和三十五年十月三日午前十時開議

日程第一 議案第六十三号 都市計画街路事業橋梁工事請負契約の締結について

第二 六十四号 消防団消防自動車用タイヤの購入について

六十五号 ポニプ

第三 六十六号 消防署消防自動車用タイヤの購入について

六十七号 ポニプ

第四 六十八号 広報連絡車の購入について

第五 六十九号 広報連絡用原動機自動車、の購入について

第六 七〇号 東長田用水路改良事業用資材の購入について

第七 七十一号 昭和三十五年度事業分担金の賦課総額決定について



日程第八 議案第七号 中学校科学館建設費指定寄付金收受について

第九 七三号 高等学校産業教育施設費指定寄付金收受について

第十 七四号 休養施設滞留費指定寄付金收受について

第十一 七五号 館山市国民健康保険条例の一部を改正するについて

第十二 七六号 千葉市外百一市町村の軽自動車税の賦課徴収に關する事柄

と行ふ職員との共同設置理約の一部を改正するについて

第十三 七七号 館山市職員給与条例の一部を改正するについて

七十八号 学校職員給与条例の一部を改正するについて

七十九号 昭和三十五年特別会計公益質屋追加更正予算

第十四 八〇号 国民健康保険

八一号 市立市場

第十五 八二号 昭和三十五年特別会計休養施設追加更正予算

第十六 八三号 一般会計追加更正予算

第十七 八四号 東用自動車、購入について



一 本日の会議に付いた事件

議事日程に付

一 出席議員数 三十一名

一 欠席議員 三名

○議長(山本 昇一君) 本日の出席議員数二十八名より第三回市議会  
会期(定例)会第二日の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。  
念のため申し上げます。各議案ともお諮りにおきまして説明  
が終つてありますので直ちに質疑の議事より審議を行  
いたいと思つております。よろしくお願ひいたします。

日程第一議案第六号

○議長(山本 昇一君) 御質疑ございませんか。

と認めます。



議案第六三号 討論省 畧 原案通り決定いたすに御異議ありませんか。

(「異議ござい」と呼ぶ者あり)

○議長(山本 昇) 君 御異議ございと認めます。  
よって議案第六三号 甘原案通り決定いたすに。

○議長(山本 昇) 君 続いて日程第二=議案第六四号 並べ  
六五号 上程いたします。

御質疑ございせんか。

ございと認めます。

議案第六四号 討論省 畧 原案通り決定いたすに  
御異議ありませんか。

(「異議ござい」と呼ぶ者あり)

○議長(山本 昇) 君 御異議ございと認めます。



よって本案は原案通り決定する。

○議長山本 昇 君 読いて日程第三議案第六号並にト等  
六七号を一括し程いります。

○議長山本 昇 君 御質疑ございせんか。

ゾーと認めます。

本来も討論有る原案通り決定いりますト御異議  
ございせんか。

(「異議ゾー」と呼ぶ者あり)

○議長山本 昇 君 御異議ゾーと認めます。

よって本来も原案通り決定いります。

○議長山本 昇 君 読いて日程第四議案第六八号。

御質疑ございせんか。



ザーと認めます。

議案第六八号 討論省署 原案通り決定するに御異議ございせんか。

(異議「ザー」と呼ぶ者あり)

議長山本 早(君) 御異議ザーと認めます。  
よって本案も原案通り決定いたします。

議長山本 早(君) 続いて日程第五 議案第六九号。

○三四番(飯田義男君) 本案について特に異議はございせんが、最近自動車 あるいは原付自転車 含めまして多くなつております。私自動車、管理については将来、かりとした運転管理者というものを設けて十分管理しなければならぬのではないかと、いう質問をいたします。それともその後どのように管理方法について市は



努力してあるかその点についてお答え願いたい。

下の広報連絡用の原動機付自転車ですが最近いろいろなものが出ておりますがホニダベネリー号、これも非常に優秀でいいと思いますがその仕事めがけに不トて、バッテリーも全部で同ド種類でなければならぬということもなと思います。経済的燃料的を以てその用途を十分検討されまして最も適切であるという検討をしておられるかどうかその二点をお答え願います。

の総務課長山口 実 君 第一点の自動車の管理の点でございますが、すばらしいですね。研究の課題でございますが、たゞ今飯田議員さんのいわれる通りこの自動車を全部統轄する主任等を任命いたしましてその主任に逐一車両の維持とか油の購入とかそういう一貫した統制ある仕事を命じたいと私個人の方えですがもってあります。



これが第一点 次に第二点の軽自動車への件でございます  
すが、たゞいま市ではベニリー号を五台ばかり使つております  
が、何といつても自転車の性能もよくわかり、これは自  
転車の方が都合がいいのであります。また価格も代理  
店で販売する価格を一万円下げて市に提供するとい  
うこともあつて、還考いたしております。

○三四番 飯田義男 君 管理の問題で課長さん個人という  
言葉を使われまして、それが個人の考えを發表されるも  
何ともならない。助役さんあり、どのようなふうにお考えに  
なつておるか。この管理者を置くことによつて何倍か  
の利益があるということと、私は商売を通じて現実  
に承知いたしてありますので、市としてもこの点に注意し  
ていくことが適當ではないだろうか。こう考えたので申  
し上げたわけでございます。



市長(田村利男)君先般の議会でも質問がでたのでござい  
すが、その節将来十分そのような施設をとりたいと答弁  
したように記憶してあります。そのことを恐らく課長  
が答えたと思ひますが、事実、前の市役所の二階の建物  
を前の広場にもつて参りまして、脚を全部とりはずし  
して二階建を使つて車庫にするという計画が今設計  
を建設課長がやつてあります。これができるときには  
不満足なわけない、機械の修理とかさうな嚴  
重な管理をいらない、現在乗用車にたまつては  
市の秘書課が当つております。使つてがツリニ代  
はるは車体の整備など課長がかなり運転手に厳しく  
いってあるやうであります。が、将来さういふ管理を  
さうに含めて車庫を作つた上で機械の整備だの自  
分でやるやうにして、さう今建設課長が計画した  
と思つております。



してありますので御了承願いたいと思います。

○四番（江田速太郎君）課長さんの説明によりますと職員がベ  
 ェリー号を知つてゐるから大変結構である。そのために  
 今度も三台注文にとこういうふうに考えられます。

それならば今後このベリー号ばかり集めてゐるから  
 他は買わないといふふうにも聞かれます。市にはさうい

う業者がたいていあると思います。やはりニ社より三社

よりみてやつていかなうかと思ひますが今後どんな方

法ですらどんな見積り合せとか、さういふ点について伺

います。

○総務課長（山口実君）今後購入につきましてはなるべく教社

を甲一出て見積り合せをするように努めたいと思います。

今圓に限り、このようなお法でもって契約して次第でこ

ないます。



○議長（山本 昇君）御質疑ございせんか。

「—」と認めます。

議案第六九号 討論有畧 原案通り決定いりますと御  
異議ございせんか。

（「異議—」と呼ぶ者あり）

○議長（山本 昇君）御異議「—」と認めます。

「—」本案は原案通り決定いりますと。

○議長（山本 昇君）続いて日程第六 議案第七〇号 上程い

ます。

御質疑ございせんか。

御異議「—」と認めます。

議案第七〇号 討論有畧 原案通り決定いりますと御異  
議ありせんか。



「異議あり」と呼ぶ者あり

○議長山本早君 御異議ありと認めます。

よって議案第七〇号は原案通り決定いたす。

○議長山本早君 続いて日程第七議案第七一号

○三一番(田村喜兵衛君) 今この数字をみますと額が一定にな

いようと思いが、どういうわけか、それとさかちてもら

いたいと思います。

○農産院計課長(吉田耕一君) 所答之申して上げます。

小田地区へ開発整備事業の分担金の賦課総額が一定

しないというようでは御質問のようではございすまいか

ら、4、5では農道の改良事業の分担金の賦課でござ

います。額が一定しておらないという理由は事業の総

工費等によつてその賦課金の額が各事業所ごと



造成してあるということになるわけでございますので

御了承願います。

議長（山本 早 君）御質疑ございませんか。

ゾーと認めます。

議案第六一号は討論省署原案通り決定いたします。御  
異議ありませんか。

（翌議ゾーと呼ぶ者あり）

議長（山本 早 君）御異議ゾーと認めます。

よって本案は原案通り決定いたします。

議長（山本 早 君）続いて日程第八議案第七号と日程  
九号です。

○二四番（飯田義男 君）本案は対ゾーでは過日休明けが  
ありまして大體了解いたしましてあります。が、科学館として



の指定を受けるときは考へられてゐるものと一般教壇の  
 建設に充ちするといふことは相違考へてゐるわけでは  
 ない問題だと思ひます。 又地元の P. T. A. と  
 して了解がついてゐれば一応は了とされる  
 わけでございすけれども、この問題について  
 もう一部に反対があるとして将来非常に大きな禍根を  
 残すのじゃないかと考へます。 義務教育費に地元に  
 負担すべき性格ではないと思ひます。 その点了解が  
 ついてゐるかどうかならば将来これを科挙管として  
 使用する御意向へようと思ひます。 併しその目算  
 が近い将来にあるかどうかその点について伺つて  
 思ひます。

教育長(工府和平君)に答へてゐます。

又、今の申す通りでは先般の議会の申し通り



たのであります。が補助の關係等ございまして、どうして  
も普通教室の名目でありません。とハ教室が建ちにく  
いのであります。さういふ意味で一応普通教室三七年  
度までの生徒急増に對策の一環として普通教室を  
建てる。と、さういふのでございします。 旁付の關係も  
あります。うでできるだけ早い機会に科學館に転用す  
ると、さういふ考えをもつてあります。うで學校當局とも  
よく打ち合はせたい。うで早い機会に科學館に便さ  
るやうにしたいと思ひます。

三四番 飯田義男 區地元の了解についても、もう一回確答を願ひます。  
教育長工藤和子君の了解の点については、期成同盟会長、P.T.  
A会長、學校當局でさういふ方の了解は得てさうにこ  
ういふ人たちが地元の關係者の代表者を集めることド  
よって了解を得てある。さう了解してあります。



議長山本 早(忍)議案第々三号討論有畧原案通り決定  
いマ(す)す(忍)御異議あり(す)せんか。

(「異議ナ」と呼ぶ者あり)

議長山本 早(忍)御異議ナ(と)認め(す)す。  
よ(て)本案は原案通り決定(マ)す(マ)す。

議長山本 早(忍)就(て)日程第九議案第々三号  
御質疑ござい(す)せんか。  
ナ(と)認め(す)す。

議案第々三号討論有畧原案通り決定(マ)す(マ)す(忍)  
御異議あり(す)せんか。

(「異議ナ」と呼ぶ者あり)

議長山本 早(忍)御異議ナ(と)認め(す)す。  
よ(て)議案第々三号は原案通り決定(マ)す(マ)す。



議長(山本 昇君)読いて日程第一議案第七四号、

御質疑ございますせんか、

ノーと認めます。

議案第七四号原案通り決定いたします。御異議ありませんか。

(「異議ノー」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇君)御異議ノーと認めます。

よって本事は原案通り決定いたします。

議長(山本 昇君)読いて日程第二議案第七五号、

~~議長~~(御質疑)ございますせんか、

ノーと認めます。

議案第七五号原案通り決定いたします。御異議ありませんか。



(「異議ナ」と呼ぶ者あり)

議長(山本 早)君)御異議ナと認めます。

よ、て本案は原案通り決定いたします。

議長(山本 早)君)続いて日程第一議案第七六号。

御質疑ございせんか。

ナと認めます。

議案第七六号 原案通り決定いたします。御異議あり  
ませんか。

(「異議ナ」と呼ぶ者あり)

議長(山本 早)君)御異議ナと認めます。

よ、て本案は原案通り決定いたします。

暫時休憩いたします。



一〇時四五分休憩

一一時 五分再会

議長山本早見休憩方へ引続いて会議を開きます。

議員の出席議員数三〇名。

日程第一三議案第七号及び第七八号を一括上程いたします。

○二番 脇田順一君 過日の説明に給子の中なるみ是正だといふことですが中なるみというものをもう一べん説明して貰いたいと思います。それから人事院へ勧告に従ってやはりベースアップになると思いますがそれへの地味う一的な準備ですかということです。

○秘書課長代理(小倉澄男君) 議員の質問に対してお答えいたします。

中なるみということとは昨年の六月の議会におきまして



御承認を得ました給料表現在使つておるものでござい  
 すがそれと改正した。どう改めようかと申しさげないとわら  
 ないと思ひます。その時にならうと時は初任給でござい  
 ます。高校卒、短大卒、例えて申しますと給料表とご  
 うん願ひたいと思ひます。が五等級の上から六番目七千四  
 百円、これが国家公務員の初任給で高校卒、初任給で  
 ございします。その次の八千四百円が短大卒の初任給で  
 前圓において三百円でございしますがこれが四百円、それか  
 ら一万八千四百円が大学卒の初任給でこれを千円とげたと  
 めに當時の人事院の決定の方法が千円とげたとめ  
 その次の号を一万一千六百円、一万二千四百円という順にし  
 て大体一万九千三百円位のところまでいまして結局  
 この間の条例をかえていた。ます給料表は全然昇給  
 がないのでございします。この間、エだけとエグていまして



つでこういう結果になったわけでありまふ。これが中なる  
みでございす。

第三点はベースアップだ。これは前哨戦かというよう  
なことでございす。がそのための前哨戦ではございませ  
んで先ほどの第一圓の改正によつておこりまして不合理な  
給与体系であるのでこれは改訂していかなくてはならない  
という目解の下に今回の議案を提案した次第でござい  
まふ。

。三番 飯田義男君 本業に關連した問題でございす。が現在館  
山市の職員は給与ベースは県下各市と比較して大体どの  
程度にあるか。その点を中心とつ。

。秘書課長代理(小倉隆男君) 答へいたします。現在市の平均  
ベースは一萬五千九百七十四円。これは消防署を除きま  
す。大體よでございす。一、二市の何番目になるかわりませ



んが現在中へ上でございます。

○二四番飯田義男君 私は将来館山市の方向としてはこれ以外  
あり市の職員はふやさないという方針が結構ではなか  
らうかということも市長さんにお願ひしておるわけです。  
一の少数教ということには精鋭主義といつことであり  
まあそれで付随して問題として当然少数精鋭主義なら  
その人々に対してよそに劣らざいだけの給与を考へる  
ことが当然必要でございあらうと思ひますが市長さんは  
最近非常に市政について赤字克服ということ而努力  
して結果相当赤字になつてきたという今日、この基本的  
な考へ方について、でもう一回御覚悟のほどをお聞かせ  
願ひたいと思ひます。

○市長(岡村利男君) 余分な職員はとらふという線はあくまで  
堅持してあります。例えは今度三四人退職いたしまして



がそのあとがきです。すぐ補充するということは一してあります。  
 一、一、一、市の考えといふことについては、いつまでも新高校卒  
 業生を取らないでいるということとは将来市の中堅層を  
 失うことに及びますので、やはりある一定の期間をおいて  
 三年前に採用した者が、やはり今年度あたりは嚴重  
 な試験をやります。て、採用の方はいやないかと考  
 えております。また埋合せというか、その間古い人結  
 してやめる人等がございますので、四名いなければなら  
 将来館山市の人事に悔を残すということも考へつた  
 すので、そういう点も考へておきます。一、一、一、努めて新  
 採用をしないという方針を、過去四年間堅持してきた  
 めけでございします。

ニ四番（飯田義男君）給ふについて中なるみの是正については  
上りの指示であつて市長さん独自の考へ方として市の



職員に對して其本格的構想をもつていられるか、その点について

○市長(田村利男君)特にとの商れに優遇をするという考えはもつてありません、——かゝる常々市、職員組合と話し合つて例えればボーナス期末手当等、問題につづき——でも決して職員組合の要求を頭ごなしに認めないということはやつてありませんで職員組合と十分助成立合ひの点で話し合つてきめております、でその点のいふ不平もなまそうでござります。

○議長(山本 昇一君)議案第七七号及び七八号討論省署原案通り決定いたします、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(山本 昇一君)御異議なしと認めます、よつて両案は原案通り決定されました。



○議長（山本 早良）続いて日程第一四議案第七九八〇八一号の

三議案を一括上程いたします。

御質疑ございますせんか

――と認めます。

議案第七九号乃至八一号討論有畧原案通り決定いたします。

（「異議ござい」と呼ぶ者あり）

○議長（山本 早良）御異議ございと認めます。

よって三案は原案通り決定いたします。

○議長（山本 早良）続いて日程第一五議案第八二号。

○二番（宇西政治）この予算をみますと千葉銀から指定金  
は、まあ、いろいろございしますが一般会計の方へ更へて  
――して備品費の方に便してあるように思えないの、どう



これは私の見解の違ひかどうかと質問いたす。市長(田村利男君)こういうことではどうかと思ひます。が千葉銀行から三十万前後のものを貸付けられてはいない。もううこととを予定して取りまゝと當時得たといふことになってゐる。すすので今のところ新しい備品は買ひないことになってゐる。すす。

〇二八番安西政治君——そういふ場合今ト多少相手さんに對して記念が何か残して欲しいというふうなことはいいけれども、かどうか、まあそういうふうにしてひとく失礼に當つていかというのと、さうして休養施設といつても一応館山市が醒えに踏み切つたという姿で醒え面と大きく結んでつけてこの施設を作つたとは私は今まで解明しておつたのです。がまだ必ずしも休養施設の旭山荘が完備されてゐるとはいえないのでございます。まゝでやその後その不完全



なために大きな事故ではないが散歩にでて崖からころが  
ったというふうな事件がおきてゐるのでございまして、こ  
ういふことがあつてもうすー設備も必要ではないか、さう  
にこつといふ金が入つたときに積極的な施策としてやつと  
うかということも考えられます。同様に入部もうか、とある  
ようでもございしますが、そのもうか、は金は今後の便い道と  
いうことをどんなふうと考えてゐるか、私の意見を申し  
ますれば、いはば市が直営する観光施設から利益を上げ  
か、たならばすべて観光施設の整備、もちろん、建物  
だけでなく周辺の整備に使つてもいいと思つてゐ  
ます。すが当局はどう考えてゐるか、この際、如何にいたります  
市長（田村利男君）酔つてころんだといふことは聞つてゐるま  
すが、それ以外は事故もないやうに聞つてゐります。  
それで、すぐ電気をつけたり、けでございします。



千葉銀行の方は特別いつてきてあります。千葉銀行の職員がきつて大いばりで休養することができるように、少一歩引いておいてくれと去年の暮時分、きつてと、きつてようやくきつてきた。初めから予定、きつてありきつて例え、椅子もい、ものを置け、あるわけ、きつています。そういうふう配慮してありますので、千葉銀行の名前を入れなくても文句を言わないと思つておきつておす。

解、ゆいにもつともとに返、たのはなる、つ、一般財源、かつ、鳩山、たに、特、余計出す、という、こと、さ、ない、よう、に、いう、ず、れば、今、間、大、体、二、百、五、十、万、は、ア、リ、の、金、が、果、つ、方、か、ら、特、別、く、る、こ、と、に、な、つ、て、あ、り、ま、す、が、そ、の、金、も、こ、の、予、算、に、入、れ、て、あ、り、ま、す、人、が、い、ろ、ろ、な、政、治、的、衝、き、に、よ、り、市、の、も、ら、う、た、金、で、お、ご、い、ま、す、の、で、こ、れ、も、鳩、山、に、休、養、施、設、の、備、品、



という名目でございともうえることに成功して九月県議会に  
可決すはすにござります。

また将来休養施設のどうか、そのものについては市の会計  
さうるおすということでよくあくまでもうか、た金は休  
養施設の内容の充実あるいはもうか、た金だけでは足  
りなくて市から借り出す必要があるかも知れませんがあ  
る場合にはだすとしてもできるだけ休養施設について  
の金は概々採算制でや、っていく立場にな、ていふたいと  
考えているわけでございます。

二三番(黒川修太郎) 退休養施設の問題についてお尋ねします。  
鳩山君が開店以来順調な歩みと読けてあるそうであること  
に御同慶に堪えない次第でございますが、私先日鳩山君に  
へ参りました時三三氣がつきましてのでそれに對する当局  
の考えを承りたいと思つてあります。



第一点は掃除の面で非常にゆき面が広い面があった。これはとりもなおさず人手不足ではなからうか。もちろん市といつても初めての経営であるので、一ぱらくはなるべく至費をかけるまいという気持の現われであらうと思ひますがサービスの面でも手が足りなければあつから客に満足は与えていない。こういう観点からみまうて人員過少ではないかという考えをも、大次第でありすが、これに対する市の考えはどうであるか。

もう一点は、いまま酔ばういが落ちたというふうなお話一がありまうたが、お客は必ず海岸へ出たがるだろうと思ひますが、電燈について、よりまうたがその道たるや山道のような姿である。これを何とかもうすう手を加えて安全に海岸へでられるような姿にしてはどうか。ということも考へたのですが、これに対する市当局



のお考えはどうであるか。

市長(田村利男君)酔っぱらいの問題ですが普通に歩いていけば現在の鳩山荘の道はちよゝとも危険なところではないかもしれません。それから人員をふやしてさうに充実して運営をやれということでございますが掃除等も十分をえをつけてまいりたいと思います。

四番(志村信作君)鳩山荘に泊る客は周辺の名所旧跡を訪ねるといふ段切りになると思います。また鳩山荘には名所旧跡への掲示がありませんが早急にお客の便宜をはかるように掲示してもらいたい。こう思います。

それからすぐ近く、鉦切神社あり現在の館山市の名所旧跡の中に入っておりませんが、この際、相当の諸ある神社です。からゆえにどうかと思います。

それからあの前の畑等も将来駐車場等のため、手に入



れておいたかどうかとも思うが御説明を願います。

。商工課課長 羽山 彦雄 君 回答いたします。

周辺の名称旧跡の看板の問題ですが実は簡単な説明  
 のようなものを置きたいというので案を作っております。  
 たい揭示する適当な場所についてその雰囲気もこわす  
 ようでもいけないと考へましてそれに苦勞しているわけ  
 ですが設計者等の意見も聴取して場所を選定したい  
 と考へております。

駐車場の問題ですが現在のところ使用の敷かういまま  
 てもあの程度で十分間に合うのではないかと考へており  
 ます。将来勤労者階級がみな車を持ってくるようにな  
 る時に足りずれば当然考へなければならぬと思  
 います。すが現状では十分間に合、こいる状況でござ  
 います。



。四番（志村信作君）もう一つ館山会館の名称と樫山  
荘の名称では三つ、四つ同じ名前がついているのですがで  
きるならば他の名称にかえたらどうかと思います。御意見  
いかいどうしよう。

。商工水産課長（羽山房雄君）室名の問題でございますが、まこ  
うの状況は調べたわけでございます。こちらは室  
名の募集を——といわゆる決裁をうけてそれに基いて標  
示板等用意いたした。印刷物も用意してございま  
すので変えるということになると相当訂正なければなら  
ない箇所が出て参りますので、このまゝ変えないでやりたい。  
なお同様の名前に八幡ばかりでなく、木村屋にもござい  
ます。——船橋のヘルスセンターにもございます。これはどろ  
うもその零同義に合うように名称をつけたいではないか  
と思います。



○四番(志村彦作君) 私はヘルスセンターには私はないと思いましたが、それから前の質問で鉦切神社の問題について、

○商工水産課長(羽山彦雄君) 当然これは入れている、旧跡神社の格とも、ておりますので将来そうしたいと考えております。

○三番(飯田義男君) 第一点は課長さんにお答之願います。

端的に申し上げてまだ明確にわからないのですが、徳山荘にエーゾンとすてオフの時期に入ってきたのですか。

果して黒字になる可能性があるかどうか、この見通しについて伺いたい。 もー黒字になって最近利用者がふ

えてきた将来もなおこれを拡充してその必要が十分にあるのだという見通しがある、た場合、市長さんはどのようなお考えをもっているか、この二点を課長さんと市長さんにお尋ねいたします。

○商工水産課長(羽山彦雄君) この機会にたいしますまでの利用



状況で申し上げてみたいと思います。

七月の利用者の人数でございすすが七月は五月から南店  
にてあります。宿泊者が九八三名、飲食その他御利用  
はさ、お伽バーニ二名、売上の調定額が七十八万三千三百二十八  
円とござります。

八月が総計で二七八三名、このうち宿泊が一四五一名でございま  
す。

九月になつても四一六名の泊り客がございます。総人数が

一八五三名、大体たゞいま、で三月を通へて売上げが大  
体二百八十万ございます。これを考えてみまして九月は

エーズニオフとはい、まあまだ相当利用者がございます。  
やはりエーズニオフは一月二月頃ではないかと考えられま  
す。これはまだこゝてみないとわかりませんが、その他市内  
の客が非常に多くなつて参りました関係で一月一月も



宴会等相違あるものと考へつれます。

黒字のどうかということは一応料理、原材料に對して  
何割位というあればです。が、人件費、あるいは施設費  
起債、償還、こういう点を考へますと、すぐ黒字という  
線はでないと思ひます。

○市長（田村利男） 将来増築という考へがあるかどうかとい  
う問題でございますが、これについて二つ考へがありま  
す。この八月の中旬に果知事がきまして、あそこを視察  
して、たわけでございますが、そのときにユースホステル  
を隣接して建てることを知事も決定して取りまされ  
私もたわけ運動して喜んでおられたわけでございますが、  
その後果と中矢との折衝がどうなつたかわかりません  
が、ユースホステルの割当が千葉県にないということに  
なりまして、本年度建てることは期待できなくなつた



わけでございます。そういう意味で来年度はぜひとも知事にもうすー中央との折衝をするように、読まして大体五〇ほどのユースホステルを置まして果でやるか、館山市が委属を受けられるか、あるいは個人が委属を受けられるか、のりません。あの地区に団体で一五〇人収容できるという考えにも、ていさたい、これが一つでありましてまた市独自の休養施設の増築も考えられますが新しく国民宿舎の追加許可ということでは今の状態ではちょっと考えられませんが、その場合にユースホステルを置きさうに必要があれば、館山市独自で考えたい、のじゃないかという考えをもっておりまして、小学校の古校等でもそれに充てればという考えをもっております。

。議長(山本 昇) 議案第八号討論有畧 提案通り決定



いなりますと御異議ありませんか。

(「異議ナ」と呼ぶ者あり)

○議長(山本 昇 君)御異議ナと認めます。

よって本案は原案通り決定されよう。

暫時休憩いなります。

再会は今後一時といなります。

二時五十分休憩

一時一十分再開

○議長(山本 昇 君)休憩おひらき続きます。今議を開きます。

たいいまの出席議員数二十九名

日程第一六議案第八三号を上げます。

○二五番(鈴木市藏 君)文外に東用自動車購入についてというの



があります。それがこれに因連して市長さんにちょっと伺いたい  
と思います。

館山市は乗用車を購入するとほとんど乗りつぶして  
しまっているが、二年使って下に置いて新車を購入し  
た方がいゝか、それとも乗りつぶしてしまつて新しく  
購入した方がいゝか、この点どう考えておられるか、これが  
一つ、いまだとつは購入したときから乗りつぶすま  
で一台の自動車において修理費がいくらか、つてある  
か、この二点、どう御答へ願ひます。

。助役（小生）男君 乗用車の問題については、お尋ねでござい  
ます。が第一点につきましては、は、きり、その計算はまだ  
してございせんが、一利一害が両方ともあると思ひます。  
いゝ、自動車ですとある程度乗りつぶすというところ、  
あるかも知れませんが、ある程度乗った方が有利な場合



がございます。特にこの点は外車などにいえると思います。中古品ですと非常に修理費がかかります。そのためあまりなかく乗ることによって生ずる修理費というものを減らしますと結局その金で新しい車を買った方が有利な場合も予想されます。

今回購入をお願いしようとするものは国産車でございまして先般入札モードの国産車のごときはほとんどいまもって修理費がかかっておられないのが現状でございします。ですから国産車でかりに百万円前後のものですと一年使って半分以上大割位に売れるやに伺っておりますのであります。がそういうことになりすすれば一年か二年半で更新していく方が故障もなく運転手も楽である。こういうことかというモードで更新していく方がいいんじゃないかと考えます。今後外車じゃなく初製のもの



入れることによりましてそれらの計数をだしてまして安  
全で運転年も桀であるー能率もよい修理費もか  
うないという方へ考えを変えていきたいと思っております。

第二点の修理費の問題ですがこれは今計算できてござい  
ますので後刻計算をしてお答え申し上げます。

○二五番鈴木市蔵君助役さんは中古品だとおっしゃいます  
がこの方の自動車購入のときにはもう助役さんは  
館山市においでになっておる。その時わけー議会  
は新車という付帯条件をもって議決した。こう解  
釈しておられますが、こういう点をよく考えとぜひや  
ってみたいと思っております。

○三番三沢節君福祉諸費の敬老会贈料があります  
が、ちやうど現在各地区で運動会をかねて敬老会が行  
われておりますが通知のない人がある。そういって



通知漏れのないようドーでもういたい、非常に楽ー  
ミドーで待ってある。 とういうふうな御調査を進めて  
おられるか、 もう一つは敬老会にこない人に対しても  
やはり適当な処置をとっていただきたい。

とういうことを御質問いたしたいと思っております。

。福祉事務局長（長谷川 広治 君）市内の七五才以上の老人を御招待

してあるのですか、住民登録票によつて私も調査を

してあります。 その概数二二五〇人程度でございます。

通知がこないということですが、そのような場合は私と

もの方では通知をだすけれども途中ではずされ

てしまった。 とういう場合と、年令に全然該当して

いないと申しまして、本人は七五才だといつてあります。

でも戸籍の上では七三四とありますのでは、より申し上

げられないわけですが、年令がは、より七五才以上で



ある。 こういうことであって通知がないということであ  
れば私どもの手おろとなるのでよく調査をしてみたい  
と思います。 大体私どもの方では通知の出しもれは  
ないと考えております。

それからもう一点の記念品代と申します。 差入を  
るようだという意見ですが私どもは手ぬぐいと記念品と  
して差入で入ります。 これにつきましては中食の  
おりに差入で入っております。 こない人には記念  
品を差入で入って中食代は差入で入ります。

二九番(遠山ヨネ子君)の予算とは関係ないのですけ  
れども大葬場への問題で死んだ人の受付けは市民課で  
うけて事務は厚生課でやっております。 だが連絡があま  
りはないです。

重油は常時的に予備を整えていくとあって、やっぱりたので



すが一体についていくらゐるか等もわかっていると思ひます。それがそれと人数との関係をはつきりとして数字で始末してあると思ひます。それともそのところがよくわからないうちです。その点をおきくと御説明いたしませんかと思ひます。

それからもう一つに配事相談所の四万圓というのは大体何に便しているか御説明願ひます。

厚生課長(伊藤幸太郎君)連絡の方法でございすすがたゞいまお話しにございす。たゞうに受けは市民課の方でお願ひしてございす。といふす。これは死七届を市民課にお願いになる。で同じ窓口といふ、という見地から受けをりをお願いするわけです。それから實際、大卒の管理にございす。と厚生課で管理してございす。すがその連絡方法といふに



ヨ―では今度新しく連絡票を作りヨ―て受付けたい  
バ―ヨ―た都度 その票に所定の事項を記入して  
いたゞきヨ―て私の手に届かいたゞくというような方法  
をとつて実際に火葬いたゞきヨ―て管理上の資料にし  
てあるわけでございす。

重油の関係でございすすがこれは市内の関係が一応協  
定されていたゞきヨ―て値段はどの業者にも一定  
してありますので私の方は各業者に交互に重油を  
つれていたゞくようなことにしてございす。

以上でございす。

。福祉事務所長長谷川広治君心配事相談所の補助金の  
関係でございす。積算の基礎ですが本年年度の

予算は大体五万三千円というふうに相談所の方で  
計画してありヨ―たが、そのうちの二万三千円程度の



ものを至常費の分として計上してございます。

それから一万八千円を開設までの事務的な諸至費で  
使用してありますのでそれだけの分合せて四百円  
を計上しております。そのようなわけでございます。

二番(黒川佐太郎君) 環境衛生の問題についてお尋ね  
いたします。

昨年までは噴霧器によって定期的にやっていた  
けれども除々に効果があつたのです。本年は薬品  
を販売して個々にこれをやうせるということは何と申し  
ても集団的に同時にやるということに効果がある  
のじゃないかというふうに考えます。文化都市建設  
に於いて非常に重要なこの環境衛生に於いて  
してまことに遺憾に思つてある次第であります。  
つまりこれは来年度からは再び従来の機械化に



よる散布をお願ひするのであります。市当局はこ  
れを却てどうお考えであるか、御所見を承りたいの  
であります。

。厚生課長伊藤幸太郎君 和新一く課長と仰ります。てから  
お話しのような点考えてあります。が本年度は当初  
の子定べそのようでございます。たゞやむを得ませ  
んが来年度にします。てはお話しのございます。た  
ようなことを十分考へまして御朗読にしたいと思ひ  
ます。

。議長山本 昇君 他に御質疑ございませんか。  
びーと認めます。

議案第八三号 討論有 畧 原案通り決定いたします。御異  
議ありませんか。

(異議なし)と呼ぶ者あり



議長山本 昇君 御異議ございとお認めます。

よって本案は原案通り決定いたします。

議長山本 昇君 続いて日程第一七議案第八四号。

御質疑ございませんか。

ございとお認めます。

議案第八四号 討論省畧 原案通り決定いたします。  
御異議ありませんか。

(「異議ござい」と呼ぶ者あり)

議長山本 昇君 御異議ございとお認めます。

よって本案は原案通り決定いたします。

なおこの際二番議員 荻生田七郎君から通告質問  
の申し出がありますので暫時この発言を許します。

二番議員 御登壇願います。



(萩生田七郎君登壇)

の二番(萩生田七郎君)貴重な時間と拝借いたしますことと  
お断り願います。

二つの点につきまして通告直向申しエゲたのであります  
すが、私共も、てお断り申します。私は以下の質問  
について私どもの信頼する田村市長さんの責任と向  
うとかあるいは非難するとか、もう一々意志は毛頭ご  
ざいませぬ。また私の申しさぐる用語について遺憾  
な点がございます。たうかような気持ちで当るも受け  
と、ていたいたないと思ふのであります。

第一向は建設課長さんにお伺いいたしたいのですが、  
市庁舎の雨漏りの事実があったかどうか、私はこうい  
う事実があったという前提のもとに御直向申しと  
げます。



市の園にありす範圍におきましては市庁舎の  
 三階と二階が一ツ所の雨漏りがあったとまた地下  
 の売店の上部もあった、この議場にも廊下から議  
 場にかけて水がたまつた、また各階とも窓が不完  
 全なために雨漏りのおそれがあったために全部にわ  
 たつてあとからラバーをつけた、パッキンのようなもの  
 をした、こういうことを承つておるのですがこうい  
 へばことごとく果して現段階において完全であるか  
 どうかという疑問をもつものであります、この設計  
 に各階の窓の下にあるブロックが向違である、たうで  
 あるが設計の不備と申しますか工事費の節約と  
 申しますか、その結果こういふ現象が生じたという  
 ことを建設課長にお伺いしたら答弁を得たうであ  
 りますが、こういふ現象は設計が不備か、あるいは



工事が疎漏かあるいはこれが中止し得ない不可  
抗力によるものであるかどうか。私はこの点につきま  
して非常に疑義と前途心配の感にたえないので  
あります。この問題に関連して一般市請負に關  
する基本問題であります。この点について伺いた  
いのには本庁舎の請負の経過というものをいって、か  
かりみてみたいと思つてあります。

御承知のように工事が大事をとらなければならな  
いといふので非常に慎重にその請負人が選定さ  
れた。そして工事費が決定された。そして当然請  
負は入札その他は執行機関で市長の責任において  
行われた。そ市長さんは工事を大事をとるために五  
通工事請負は見積額の一〇％乃至九〇％の線が五  
通の工事でありますけれども本工事については九七



%という最高へ制限をふつけにされた。あまり安くして完全なものがないという観点から制限をつけたいので市長さんは確固たる信念でおやりになつておられる。と思ひます。結果としては最低の価格で銭高組に落ちたり戸田組に落ちたりしております。これはいくらまでも庁舎を完全にするというために市長さんがとつた最高政策であると私もは善意に解釈してこれに賛成するのであります。その後地盤が脆弱であるかう百円月の追加工事をするのだということをおっしゃった。少なくともこういう設計のもとに完全な仕事ができるために当然であります。市会は今途中に百円月の追加を認可しました。こうして全過をたどつているのであります。

なぐと申しエグマにたがこれは当局の慎重な態度



を御紹介申しエグたのであります。こうして建物が  
竣工後もなぐして以上のような雨漏りの状態なので  
あります。この場合は市民としてでもわれ——としても  
納得しきれないのであります。なるほど工事請負契約  
によりますと窓等の破損雨漏り等は建物受渡し  
の後一年、コンクリート工事は二年間、これは請負人  
にあって補修あるいは賠償する責任がございます。  
市はこの際徹底的に修理を加えてこの請負人に雨漏り  
ばかりでなくその他不備の点を修理を要求する。そう  
して逐行してもうという御意思がもろろあると  
思うのですが、これをすみやかに具体的に要望する。態  
度方針をおとりになったかどうか、あるいはこうして竣  
工間もないさうして慎重の至緯を至る建物でこうい  
う不祥事を招来した。この事実、この現状を究明さ



れて今後、修理対策をたてていってあるかどうか、その点と一つ、

それから今後の修理の如何によつては修理期間の延長契約を考慮しなければならぬと思ふのであります。なんとすれば窓の如きはあと半年しかじいでいます。半年以後に雨漏が続きますれば、これは新たに市費でもって修理しなければならぬか、こういう点はもうさう――請負人に対して保証期間の延長をせねばならぬと思ふのであります。その意志ありや否や、ともかくにも市費一億あまりを投じて竣工間もない庁舎が、こういふ現象である、一つ責任政治の立場からこの辺の目通し――これに因りて当局の確固たる態度を承りたいのでございます。第二点は観光事業に因りてこれも新聞紙上で拝



見するのでありますかう市長さんの談として確かだろう  
うと思つて御質問申しエがるのですが城山の山の上に  
城の建築計画が京成電鉄の手によつて市長さんと  
の間具休化しつつあるということを拝見したので  
ございませう。内容はつまびらかでございませうけれ  
ども新聞の伝えるところによりますと京成電鉄は  
一億円の費用を市にまゐりてその規模において  
城を建てる。非常に私は結構だと思ふ。またこ  
うしたまたこいうしたスケールの大きなものはなか  
うでござい。でありますからこの点市長さんの御努力に  
敬意を表。その計画は賛意を表するものであり  
ますけれども、一、二の事実はすれば私は何  
か営利会社であります以上当然この一億分には  
対する付帯規定がなければならぬといひゆるる人



換条件がつけられたいと思つてあります。その内容は、もちろん、いろいろと思つていますが、その内容、そう受け取りたいと思つておられます。

さういふことに、早速と申して、エグマが、御存知のようによろしく、観光事業の推進について、市長が、その発表による観光審議会というものがあつて、これは、一箇の会合、一かゝりしてあります。当然、この機関にも、一応は、はかつて

から、最後の御発表があつて、一かゝるべき、いふ、たか、さういふ、城、つ、ま、一、は、城、山、城、復、旧、期、成、同、盟、会、といふ、もの、が、あつて、ある。当、時、市、の、計、画、に、つ、ま、一、は、

市民の、浄、水、と、市、費、を、も、つ、て、千、五、百、万、円、の、予、算、で、発表、を、さ、つ、て、あ、つ、た、ので、あ、つ、ま、す、が、それ、が、一、六、冊、エ、グ、マ、と、今、度、の、計、画、が、具、体、化、さ、れ、た、。冊、エ、グ、マ、も、結、構、で、あ、ろ、う、。ま、た、こ、の、一、億、の、計、画、は、結、構、を、思、つ、た、で、



すが一応その一機関にはかうずいて御発表なさる  
のは私はいさゝか筋が通っていないと思うのであります。  
いれんや市会はこの域を建設するため全面的協力  
を約しすでに市費二百万円を積み立て、ふる。  
はこの計画に於いて全面的賛意を表明しているにもか、わ  
うず市会にはかうずいてこれを対外的に発表すると  
いうことは輕挙のそりて免われたいと思うのでご  
かいます。この点につきまして市長さんはいかに  
お考えになつてゐるか、すなわち市長さんの政治力  
これは天下万民の認めるところであります。たゞ  
自信過剰のあまり強裁専行に走るといふそり  
りて免われ得ないことなうば各市長田村さんの晩  
節を汚すゆえんであると私は恐れのみより通告  
直向申し上げたいであります。すなわち今後市



議会というものを活用する御意志があるのかどうか、また各地の期成同盟会等が作られてそうしてこれを軽視するやうな傾向が御意志があるところなうば私は改めなければならぬと思ふのであります。

重ねて申上げます。

市会軽視の事実を率直に

認めて今後こういうことをおやりにならないように御言明する意思ありや否や。私は以上の二点につまづいて来る、明確な答弁を要望するものであります（拍手）。

○市長（田村利男君）工事の問題につきましては課長として答弁させていただきます。

○建設課長（新井重助君）庁舎のことで御質問の一事は答えております。

最初に工事の契約でございますがこれは設定価格が



ございます。それと私の方で当分の物価等勘案に  
まゝして、設定書というものを一応作ります。  
それによりまして、予定額を決定いたすことになつてお  
ります。入札につきます。それはその予定額への辺の  
線で止めるかということとを考へまして、普通は九〇%位  
でございしますが、果ありも工事の種別によつてその  
率を変えてあります。工事の非常に尤すかしいものは  
は率を上げまして、当分の庁舎も普通より上げまし  
て九五%以内に入つたものを落札とするという線と  
しまして入札いたします。なところ戸田組が九七%でとつた  
のでございます。銭高は九五%の線と割りまして、たの  
あまりに競争さうでないものができたとめづかしいの  
で九五%位が適当じゃないかということできめたので  
ございます。



それから雨漏りの件でございすが大変に老間に  
多く漏ったということを聞いておるのでわれ〜も  
工事に参りましては入念に施行いたつものでございま  
す。なおこの屋根へ工事は三日間にわたって工事  
を施行いた關係上そこに継ぎ目がござるわけです。  
こういうものはやりたくないと考えて下りましてはな  
ら〜ろこれだけの面積でございすので三日間に  
わたって施行いたつた。工事を施行するにつ  
き〜ても十分雨漏りのないように入念にやつたので  
コンクリートが割れましてその後においても雨は漏  
らなかつたのです。これだけ雨がもうなれば絶対  
に配はない。こういう確信のもとにその後防水をかけた  
わけでございます。防水はユニオニ防水と申し〜  
てこれは防水であるがために責任施行でやつてもう



うということで東京のユニオン株式会社は直接こゝに  
まゝして工事を施行していただくのでございます。その後防水  
をかけたから漏らぬことがないのでございます。なまじ  
七月に入りましてから大會議室、教育委員会ですか、あ  
の辺にあまもりをすいていただく遠調へしていただく  
教育委員会のところを経て目に入つてきたわけですよ。  
そのほか参考までには申しあげますとコンクリートその  
ものが必ず収縮が起るんでございます。これはあれだけ  
の面積で収縮するに完全に打ちたいと考えてあります  
たが、それもでき得ませんので約九月以降に漏らぬといふ  
ことはまことに残念と考えてあります。

その後修理を入れて現在にも、てあります。こ  
れだけの建物を作りまして将来不備なものかあ、ては  
申し訳がないと考へて戸田君も呼んで石本事務所



も呼びましてあるいはユニオニ防水株式会社も呼びまして  
 会合いたしまして少しくとも将来環すべきものであ  
 るからこの際はおいていくということで完全に雨漏り  
 もごあきらめわけです

今後雨が漏るか漏らないかでございますが先ほど申  
 してござりますようにコンクリートの亀裂のいくのは約  
 一々年位で生ずるので今後は亀裂がないのじゃないかと  
 考えております 今後もしますればユニオニ防水会  
 社が責任施行でございますので直ちにきてもらうこと  
 やりまいとかように考えております

それから窓の方で丁がこれも急流は窓になっており  
 ますね私どもの考への及ばなかつたあるいは設計事務  
 所も考への及ばなかつたこれは当地方の雨が東京と  
 違ひまして雨足の強い風の強い同ドローメートルの風



が吹きましても、ところのすゝめがあるということでも、  
のところから、とんだのていどです。これ何回  
も修理をいじりまゝが修理、たゞところは、無駄骨だ、  
たゞという現状でございす。最後にわか、て最終的に  
こうなつて、たゞとうかということでも修理することにな、  
てあります。

今まで戸田組も誠心誠意をなして、もらひ、特に設  
計以外のものもなして、たゞ。特に議事堂の防音  
等については、二回も三回もなして、最近で、工が、て  
あります。さういうふうにあつたものにつま、ま、  
て修繕を、てあります。この修繕を、てせるため  
に、いろ／＼工を、てすと、非常に不正があるの、ドヤ  
ないか、というふうな考えと、皆さん抱かれるのが、私ども  
残念だと思つてあります。



は永久に残る建物でございますので、できるだけ修理したいと思っております。

なお地下室の雨漏りということでございますが、これは雨漏りじゃない。御承知の通り、市役所は井戸から水を上げております。そのため夏は非常に冷たい水があがってくる。そのため鉄管は冷える。外は暑い鉄管のまわりの露が生じます。これがまわりのひふくをぬらす。そうしておろてくるわけで、これも防ぎようがない。——これ、何とか修理してもらおうという話しております。

期間、延長でございますが、コンクリート作りニ十年となつておりますので、今までのうち、十分修理ができておると思つておりますので、十分だと考えております。



○ニッ番(荻生田七郎君) よくわかりました。ただ永久に残る

建物であるかという御努力はわかるのであります。がそ  
ういふ見通しとやら、たかどうかの結果においてこの現定は  
否定できないのであります。どうか一つ契約期間内

にありまして、あらゆる検討をなして、そして欠陥があり  
まして、たうすみやか、この期間内に完全な修理を行っ  
ていただくまいと思っております。その経過をみて契約の

延長を考へて、いかうべきだと思っております。その点につき  
まして、助役さんの御答弁で承りたいと思っております。

。助役(小出武男君) 今建設課長の技術的なことを申しエグマ  
スが、結局ニヶ年向の故障のところで、あつかたで、  
つくすだろうと思っております。万一そういうものが残るよう  
な状態である場合は御趣旨のようにと、さらに会社  
と相談、まして、完全に修理できるまでやりたい



という考えはもつてあります。

市長(田村利男君)城山の問題について御答弁申しあげます。  
 京成との問題は事実ありましてこの問題につきましては  
 は過ぎる六月か七月の被選挙人会の第一回会合にお  
 きまして相談いたしております。

五月十七日第一回審議会を開いてあります。その時の  
 結果は市で積金をしていゝがそれとさうに積んで  
 するということとを私はいつてあります。――その  
 半分は一般市民から寄附してもらうのもせう。五百  
 万か六百万円ほどが集まるから困ったものだとい  
 う発言が書いてあります。――そういふ事によつて外資  
 導入の話があればそれを入れたいかどうかという記録  
 が残つてあります。その時は京成という名前をわし  
 て外資導入へ大変結構だという記録も残つてあります。



そうしてその場合でもあくまで建物は市の要請と  
認め、建物でなければならぬ。市で外資を導入  
して会社の扱いにしたいとしても決して市の要請を犯すこ  
とがあつてはならないというふうな漠然として、会議では  
ありまして五月十七日会議をもつてあります。その後  
折衝して結局京成の請ひになるわけですが一週間は  
必ずしも助役と訪問の間に、まして大體同うの社長取締役  
と合意のもとに申し入れを受けられるわけですから、  
文書をもつて市が城山を建設するそうだが全面的に  
御協力申しエグな、という文書で八千万とか一億とか  
書いてあります。その後言葉のやりとりは小田原城  
水工のものを作つなければならぬ、社長の方もそ  
れはそうぞという言葉のやりとりがあります。それ  
について館山市から公試の返事をもつてどうか市の



建設に協力してもらうまい。一億円でくわとは書いて  
あります。そのほかのことは別段約束ありません。書  
いてやっていい。たゞ向うがいうのは一階と使わしてほ  
い。使用料は市へ払うから一階と優先的に京成へ  
使わしてくれないかということはいい、てあります。  
一階はギブアンドテイク的の約束はしてあります。  
こういう経過でございます。

「館山市長田村利男 殿」

東京都台東区五条町三番地

京成電鉄取締役社長 川崎千春

南発計画について照一会の件

謹啓 残暑の候貴市益々御情祥の段お喜びの申し上げま  
す。南発計画の進捗に因りましては平素何れと御指導と  
賜りありがとうございます。承りますれば貴市



にあっては夙に館山城の復元に関し御計画されてゐる由  
幣社としても南彦総南苑の一環としてゐて御地に適合  
する施設の建設を考慮いたして取りまゝでこの際貴  
市の御計画に副い御協力いたして存じます。で貴市  
の御意見を承りたくこの段御照会に及ぶ次第であります。  
という手紙が参りましたので館山市長名義で川崎千春殿  
宛に

### 南苑計画についての回答

拝啓残暑の候貴社益々御隆昌の程賀し申し上げます。  
初め九月六日は貴文書にて館山城を中心とする南苑に  
ついて貴社の御意向を拝承し誠にありがたき御厚意と  
存じ衷心より感謝申し上げます。

館山城復元に伴う城山公園南苑計画についてはつとに市  
民の要望もあり市においても着々準備中でありますが



何分にも本計画遂行には莫大の財源を要します。この意に賛成です。じんせん。今日に至る状況であります。

さうそう本市観光審議会にも諮って相共に協力。本計画実現の緒につきます。い。と存じます。のでよろしく御協力。ほどお願い申しあげます。取りあえず御回報まで。

という文書でもって回答してこの一週間ほど前に助役と東京に行き、帰りに社長及び取締役会の下に会い、おわけでございます。一つやろうじやないかと

いう話になります。おわけでございます。さてこの計画につきまして市議会軽視とか審議会無視とかいう気持は市長において毛頭ございません。

この間の協議会では人事のことと城山復元のこととをお願い申し上げたのですがその後ちよと考えるところがありまして人事だけををお願いいたしまして



城山の山一は融けませんでーた。

新聞社にも市長が計画的に発表ーたのではございせん、  
新聞記者が市長室でネタはないかということど、ネタ  
いやないがということど、まのう助役とこ、に、に、に、だ  
という話にすぎません、議会無視の気持がちつとも  
ございせんことを申しあげます。

○二番(萩生田七郎君) 市長さんに議会無視あるいは軽視の  
考えは毛頭ないということがわかつたのであります。が  
一かー結果において結果からみて明らかに議会を軽視  
してあるという結果とみて取ります。

従来あなたの方言動そのものはその意思はそうで  
なくとも、そういう結果を招来してある、ことが一ぱし  
ばあった。私はこの機会にどうか各市長とうたわれ  
てゐるのであるから市会も是非々の下に協力して



あるのであるから特段の御注意をうなわ—き—て  
私の質問を終わります。

市長田村利男君一言だけ答解—てもらいたいと思います。  
協議会のとき二ついつたことと皆さん記憶があると思—  
ます。そのときには、きりいうと議長の名前はだ

いなくありませんが議長はその問題は協議会には  
はかからない方がい、だろうというところで協議会に発表  
するのをやめ—ていたいたわけです。

そういう点から議会を無視するなどということは絶  
対ないということとを断言—ておきます。

議長山本早苗君以上をもつて本定例会の議事全部  
を議了—します。

本定例会を閉会—しますことに御異議ござい—  
せんか。



（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（山本 昇 君）御異議ございと認めます。

よって本定例会と肉会いたります。

午後二時二十分肉会

右会議の次第を録し、に署名す。

昭和三十五年十月三日

館山市議会議長

同 署名議員

同

山本 昇

脇田 順一

吉田 勇治郎



